

ながい 市議会だより



△力強い和太鼓の音色が響き渡った「かわべリング元旦祭」(道の駅 川のみなと長井)



▽気を引き締め、力強く筆を運ぶ小・中学生(新春書き初め大会)



もくじ

12月定例会の概要	2
一般質問	4
予算特別委員会総括質疑	8
委員会の行政視察、活動報告	9
3月定例会日程、傍聴案内	11
わだい、おすすめの風景	12

年頭に寄せて



議長 渋谷 佐輔

明けましておめでとうございます。

4年前に選ばれた私たち16名は「新・長井市議会丸」として船出しました。議員も議会も少しずつ進化しながら元気に帰港し錨を下ろします。市民皆様から賜りましたご指導・鞭撻に心から感謝と御礼を申し上げます。

今年は統一地方選挙にあたり県議会議員、市議会議員の選挙が行われます。地域の抱える諸問題は多岐にわたり賢明な選択が求められます。選挙はもとより住民の参加意識が何よりも不可欠であり、次の世代に繋がる大きな「カギ」であります。

今年は市民皆様にとりましても、必ずや「亥亥年（いいとし）」でありますよう衷心よりお祈り申し上げます。

12月定例会

平成30年12月定例会を11月22日から12月12日までの21日間の日程で開催し、一般議案8件、補正予算5件、請願1件について審議を行いました。その結果、追加提案された議案（一般議案2件、補正予算7件）を含むすべての議案を原案通り可決し、請願1件は採択しました。

なお、一般質問には9名の議員、予算総括質疑には2名の委員が質問に立ち、当局の考えを質しました。（質問等の内容は4～8頁）



改修された旧長井小学校第一校舎

旧長井小学校第一校舎
新年度から指定管理者制度を導入

議案第89号「指定管理者の指定について」が賛成多数で可決されました。この議案は、旧長井小学校第一校舎の指定

管理者として、アクティオ株式会社（本社は東京都目黒区）を指定するため提案されたもので、指定の期間は5年間で

す。アクティオ株式会社は、平成29年12月末日現在の従業員数は社員89名、契約社員とアルバイトが約2200名。事業内容として①指定管理者制度による公の施設の管理受託②美術館等文化施設の案内、受付等運営に関する請負業務③社会福祉施設の経営及び経営の受託④展覧会、展示会、各種会議、行催事の企画立案、実施運営などを行っています。実績として、「門司港レトロ観光9施設（北九州市）」をはじめ指定管理施設135施設、「東京スカイツリー展望台」や「アクアマリンふくしま」

など業務委託施設33施設を受託しています。

旧第一校舎で実施する重点的な取り組みとして、①子ども向けに起業体験ワークショップ、プログラミング教室、海外文化交流等②大人向けにティータイムコンサート等③観光客、市内での起業・就業希望者向けの事業等が予定されています。職員体制については、施設責任者のほか職員やスタッフ数名は、地域内雇用を最優先として、全て新規雇用の予定となっています。職員の募集方法、指定管理の範囲、施設の名称等について議論が行われ、当局から名称については公募するなどの答弁がありました。

新年度から中央、伊佐沢、
豊田の3地区にコミュニ
ティセンターを設置

「長井市コミュニティセンター条例の一部を改正する条例の制定について」を全会一致で可決しました。この条例改正により、すでにコミュニティセンターを設置した致芳、西根、平野地区を含め、平成31年度からはすべての地区公民館がコミュニティセンターに移行することになります。

これまで同様に指定管理者制度により運営等を行い、その指定管理料の債務負担行為の設定を含む一般会計補正予算も可決しました。



中央地区公民館



旧財務省官舎（幸町）

「長井市定住促進住宅管理条例の一部を改正する条例」が提案されました。定住促進住宅は、市外からの転入や定住の促進を図るための市の賃貸住宅です。定住促進住宅「ながいみなみ」(小出字館南)に加え、平成29年に取得し、現在改修工事中の旧財務省官舎(幸町)についても、入居要件の緩和や家賃の見直し等を行い、市外からの子育て世帯の転入や定住の促進を図るものです。

採決の結果、全会一致で可決しました。

子育て世帯の転入・定住を促進
旧財務省官舎を定住促進
住宅として設置

主な議案（一般会計補正予算の中から）

◇公共施設等整備事業（1億5,767万円）

新市庁舎建設予定地の用地購入費と移転補償費。

◇オリンピック・パラリンピックホストタウン誘致準備事業（171万円）

- ・オリパラ事前合宿等の覚書締結や新年度以降のホストタウン事業に向けたタンザニア政府等との打ち合わせのため、市職員やスポーツ関係者がタンザニアを訪問する旅費等の経費。
- ・YBC（山形放送）ピヨ卵ワイドによる「ホストタウン交流事業」の番組制作に関する手数料。平成31年2月に「金のピヨ卵」で放送予定の番組等で長井市の取り組みを集中的に紹介します。

◇一般廃棄物等収集運搬等事業費（816万円）

中央地区は、レインボープランの取り組みで生ごみを収集しているため週1回の可燃ごみ回収となっていました。今年度から週2回に増やしています。

◇学校給食共同調理場整備等事業の債務負担行為（40億877万円 期間：平成30年度～47年度）

学校給食共同調理場の整備につき、PFI方式により設計、建設から維持管理、運営まで一括して事業を進めます。従来方式で進めると建設年度に大きな費用負担がかかりますが、PFI方式は平準化されるため、15年間で比較してみると負担が少なくなるという利点があります。

◇平野児童センター指定管理料の債務負担行為 （3億2,257万円 期間：平成30年度～35年度）

平成31年度から5年間、平野児童センターに指定管理者制度を導入するための経費。施設管理費、運営費として人件費（保育士、学童支援員等）や需用費（光熱水費、修繕料等）が含まれています。

債務負担行為は、年度を超える事業について、あらかじめ次年度以降の債務を予定するものです。

実際に支出する年度に、改めて予算を計上しなければなりません。

平成30年12月定例会 議案等に対する賛否一覧表（下記以外については全会一致で可決されています）

議案等名	議席番号 議員氏名	議決 結果	賛成 反対	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
				宇津木正紀	浅野敏明	金子豊美	内谷邦彦	平進介	鈴木富美子	渡部秀樹	今泉春江	梅津善之	赤間泰広	小関秀一	五十嵐智洋	蒲生光男	安部隆	町田義昭	渋谷佐輔
議案第89号 指定管理者の指定について （長井市旧長井小学校第一校舎）		原案可決	13: 1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	●	/

※ 賛否が分かれたものについて掲載しています。

○は賛成、●は反対、一は退席。議長（渋谷佐輔）は採決に加わらない。

★平成30年12月定例会に提出されたすべての議案等の議決結果は、市議会のホームページに掲載しています。



浅野 敏明

重要文化的景観を
まちづくりにどう
活かしていくのか

弁 答
文化的景観をさらに磨く
仕組みづくりを検討

Q. 7月に発生した「西日本豪雨」の避難指示・勧告の対象者は860万人で、うち避難した人は約3万人でした。災害に対する身の回りの危険度を知り、万が一の際には速やかに逃げる自助の心構えが必要です。自助の行動を促す情報として、洪水想定水深標識を最上川沿いの地区に設置すべきではないですか。また、防災情報の基本となるハザードマップの作成・配布はいつになりますか。

A. 現在、国の支援をいただ

き、浸水深や避難所を電柱等に表示する「まるとまちごとハザードマップ」事業を館町南・北地区に取り組んでいただいています。他の地域についても国、地区と連携して進めていきます。

来年度、防災マップを作成し、全戸配布する予定です。

Q. 重要文化的景観に「長井の町場景観」が選定されましたが、まちづくりにどう活かしていくのですか。また、後世に残したい自然・景観・風景・伝統や習慣など長井のよいところを広く市民から募集し、主なものを長井遺産として登録する制度を設け、交流人口拡大や移住・定住につながる取り組みを伺います。

A. 文化的景観を構成する河川や道路、建物などの「重要な構成要素」を市民ぐるみで磨き、守り育てる、併せて所蔵する多くの文化財を活用する仕組みづくりが必要です。その支援方法の一つに基金造成なども考えられます。ご提案の「長井遺産登録制度」は今後検討してまいります。



文化創造拠点シリウス（神奈川県大和市）



長井橋上空から町場を望む（宮のまちなみ）



宇津木正紀

公共複合施設は
融合した施設に

弁 答
子育て世帯活動支援
センターと多機能型
図書館を合築

Q. 公共複合施設は、屋内遊戯エリアと、読み聞かせができて、子どもとおしゃべりができるエリアを備えた子ども図書館を同じフロアにし、融合を目指したものにできないですか。周辺の市町では、子育て応援施設や図書館の整備計画がありますが、子育て世帯活動支援センターと図書館の同時整備は長井市だけです。このメリットを生かし、市内や市外からもお客さまに来てもらえる特徴と魅力のある融合施設として整備すべきだと思います。

います。

A. 同建設整備基本計画では、屋内遊戯場や子育て世帯活動支援センターと、飲み物を飲みながら新聞や雑誌を読めるコーナー、読み聞かせのキッズ図書コーナーなども設けた多機能型図書館を合築します。図書館は貸し出しにとどまらず、さまざまな世代の居場所となる施設を想定しています。

Q. 長井市と南陽市、白鷹町、飯豊町の2市2町で平成31年4月に地域連携DMOの設立を計画しています。地方創生推進交付金を活用し、地域連携DMOをどのように進めて、地域内に観光客を取り込むのか、その方向性についてお尋ねします。

A. 先駆的な地域連携DMOは、事業費の9割を地方創生推進交付金でまかなえます。このチャンスを生かし、地域内の温泉や花、まつり、文化、自然などの観光資源を活用して観光客にお越しいただき、また、この事業によって雇用も生まれ、若者が活躍できる地域になるよう期待します。

※DMO：観光物件、自然、食、芸術、風習、風俗など当該地域にある観光資源に精通し、地域と協同して観光地域づくりを行う法人のこと。

Q. 11月13日に、分譲住宅団地「みずはの郷」の販売を宅建業者に仲介させたことが違法ではないかとの訴訟の判決が山形地裁であり、違法性はないとして原告の請求を棄却しましたが、この裁判にかかった費用と職員への影響を伺います。

A. 弁護士費用や職員人件費等の直接的経費だけで、約520万円になります。裁判による職員の精神的苦痛は大きく、不安や不信感等を募らせ体調を崩した職員もおりあります。

弁 答

**移住定住を促す
良好な宅地提供を継続**

**「みずはの郷」宅地分譲
訴訟裁判の影響は**



内谷 邦彦

Q. やまがた長井観光局の旅行商品数や商品催行数が、目標に対して商品数が67%の減、催行数が45%の減、また旅行客が集まらず催行できなかった商品が50%あります。分析と対応策を伺います。

A. PR方法の研究や旅行代金、旅行者の導線などを分析し、集まる旅行商品の造成を検討してまいります。

Q. 置賜地域地場産業振興センターに依頼している事業で、まちなか誘導観光客数とやまがた長井観光局の観光誘客数が同数なのはなぜか。また、誘客数の内訳で、各種クーポンの使用人数も数えています。すでに旅行者としてカウント済みではないのですか。

A. 観光局が実際に誘客した実数を観光誘客数として計上しています。まちなか誘導観光客数については、現在把握することができないため、実数のわかる誘客数を充てています。今後、地域連携DMOで調査業務を行い把握していく予定です。



図書自動貸出・返却機（神奈川県大和市）



みずはの郷の全体像

Q. 多機能型図書館と子育て世代活動支援センターを核とした公共複合施設整備は、二つの施設を融合させることが必要です。そのため、図書に「ICタグ」を導入して、すべての本を全館移動可能にし、利便性の向上を図ってはいかがですか。また、コミュニケーション能力を高めるため、英語教育用の電子図書を整備してはいかがですか。

A. 図書館におけるICタグの利便性は高く、図書館建設に併せて、導入に向け検討します。

弁 答

**ICタグは公共複合施設
建設と併せて検討**

**図書にICタグを導入し
利便性の向上を**



平 進介

Q. コンパクトシティ構想における「小さな拠点」の具体的な施設整備方法をどのように考えていますか。また、地域づくり計画で、例えば、西根地区の「中型動物牧場整備構想」のような、事業費や運営方法など地域の熱意だけでは難しい構想についても、地域の芽をつぶさず手を差し伸べるのが、地域コミュニティを育てる点から行政の役割と考えますがいかがですか。

A. 「小さな拠点」の施設整備は必要であるとの認識です。現在進めている市庁舎等の公共施設整備は、各種財源を探し必要な計画を策定し進めており、「小さな拠点」の新たな施設の整備並びに各地区の大規模な構想についても、有利な財源を探り地域の皆さんと共に検討を進めます。

ます。現在、本市はICT(情報通信技術)を活用した教育を積極的に進めています。その一つでもある電子図書館については、効果などを検証しながら整備を検討してまいります。

※ **ICタグ**：電波によって非接触で働く電子装置。小さなタグ(札)を貼り付けることで、モノ、人の自動識別、履歴情報などの記録やデータの読み取り、書き取りが可能になる。



鈴木富美子

オリパラホストタウン
をとおして国際交流に
寄与する施策は

弁 東京2020教育
プログラムを活かして

Q: 国際交流は、子どもたちの未来に意味深いものになると思います。オリンピック・パラリンピック教育実施校の指定を受け、子どもたちに友情、敬意、平等や大会の価値観などを伝えるため、今後も学校現場で主体的に取り組むことが必要ではないですか。

A: 市内小学校が、実施校としての登録を行っています。今後もタンザニア選手団との交流や国際理解教育を通して、子どもたちの興味・関心を高め、大会の意義を学ぶ教育活

動を検討・推進していきます。

Q: 今年の長井マラソン大会では、国際協力機構（JICA）の協力を得て、道の駅「川のみなと長井」や生涯学習プラザにおいて、JICAの取り組みを紹介するパネル展、アフリカの現代アート「ティンガティンガ展」が開催されました。これは、長井市とJICAとの連携を象徴する取り組みだったと思います。この機会にこの連携を強化する必要があるのではないですか。

A: 国際化・グローバル化の時代に立ち向かえるような長井の青少年育成のためにも、今後もより一層、JICAとの連携を深めます。

Q: 起業体験ワークショップの今後の取り組みと、キャリア教育の連携はどうですか。

A: 子どもたち一人一人のキャリア発達を支援し、それぞれに合ったキャリアを形成していくために必要な意欲、態度や能力を育てるキャリア教育の一環として、起業体験ワークショップなどを、旧長井小第一校舎等で行います。



市内の介護施設



タンザニア選手団との交流



五十嵐智洋

特老人所を待っている
正確な人数は

弁 充実している
長井市の介護施設

Q: 市内特別養護老人ホーム（以下特老）3施設、野の香、慈光園、寿泉荘の入所定員合計は269床で、おおむね人口100人に1ベッドありますが他市と比較しどうですか。

A: 本市は、介護保険で利用できる施設の定員を65歳以上の人口で除して、千人当たりの施設定員数を算出すると55・5人と県内13市中トップ

になっています。

特老人所待機者は、平成30年8月1日現在、実人数73名で、待機期間は、緊急度にもよりますがおおむね3か月以内です。

Q: 本市は介護施設が充実し、長く待たなくても特老人所できるのが現在の状況です。

市長選で新人候補者は、特老待機者数を過大に見込み、増床を公約に掲げました。

「ウソ」の情報が広がれば、申し込んでも無理とあきらめ、在宅介護を選択し、家族の負担が増え、介護離職につながるなど、適正な介護サービスが受けられない重大な事態になります。

特老待機者の正しい情報発信が必要であり、市民の利益を守るべきです。

A: 特老人所待機者の調査については、年3回実施しています。また、月1回開催しているケアマネジャー連絡会議において、最新かつ正確な待機者状況の共有に努めていますので、結果については市の広報誌等に掲載していきます。

Q. 公共施設等整備計画に基づき事業が着々と進められています。市民は先の行財政改革の苦労を忘れてはいないし、二度と繰り返したくないと感じています。「過去15年以上にわたる行財政改革の教訓から、ムダや無理のない適正な財政運営を行う」という市長の決意に期待するとともに、今後より一層慎重な財政運営に努めるべきと思います。

A. 二度とあってはならないと肝に銘じています。補助制度や有利な起債を活用し財政

弁 答

**ムダと無理を削減し
財政の健全度を保つ**

**今後、より一層慎重な
財政運営に努めるべき**



金子 豊美

Q. 全国市長会の会合で、幼児教育・保育の無償化の費用について、国と地方の負担割合の原案が提示されましたが、地方の負担額が長井市に及ぼす影響をお聞きます。

A. 国は制度設計の段階なので、費用負担の今後の推移を見守ります。消費税増税の地方増収分については、高校生までの医療費無料化を含め福祉分野での活用を検討します。

負担の軽減に全力を尽くします。ムダと無理を削減し、財源を適切に配分して財政の健全度を保っていきます。

Q. 今年の関東致芳会総会の席上、来年の第40回総会をもって発展的に解散し、その後は「ふるさと長井会」に協力していくとの話がありました。関東致芳会40年の活動についての評価をお聞きます。

A. 40年の長きにわたり、多い時では500名程の会員の方々が集い、ふるさと致芳を想いながら、地元致芳地区の皆様と共に長年交流を深めてこられたことに、敬意を表します。



定期健康診断で健康維持を



40年の歴史に幕～次回を最後に解散する関東致芳会

Q. 中学生のピロリ菌検査実施については、平成28年9月にも新潟県長岡市の実例を紹介し、また、県内で実施している鶴岡市や村山市の実例を紹介させていただきました。さらには、山形県医師会から、中学生を対象としたピロリ菌の除菌による胃がん予防の要望も出されています。ぜひ、本市においても、ピロリ菌検査を中学生まで拡大して実施していただくよう提言します。

A. 中学生を含む小児へのピロリ菌の一律な検査、除去の

弁 答

**関係機関の指導を得て
慎重に検討**

**中学生へのピロリ菌
検査拡大を**



赤間 泰広

Q. 学校給食共同調理場整備について、現在の進捗状況はどうですか。また、ボーリング調査・地質調査の結果を教えてください。

A. 本市では初のPFI方式により、寺泉地内に整備する計画で、現在は実施方針や要求水準書を作成中です。ボーリング調査は終了し、県の指導等により所要の準備を進め、地質調査は現在実施中です。

推奨について、国内統一した見解もないことから、地元医師会等関係機関の指導も得ながら慎重に検討します。

Q. 女性特有のがん検診や前立腺がんの検診率向上のために、検診料の引き下げや検診時間の短縮を図れば、さらに検診率の向上につながると思います。ぜひ前向きに検討をお願いします。

A. 検診率の向上には、誰でもがんになる可能性があるという自覚して、適切な検診を定期的に受けることが大切です。なお、検診料金は、近隣の状況も鑑み、負担の軽減を検討する必要があると考えます。



今泉 春江

議会での約束を守り 2案を示すべき

答 弁
グンゼ敷地へは不可能

Q. 市庁舎基本設計案Ⅰ型の1案が議会に示されました。議会での意見をまとめ実施設計へ進めると報告がありました。しかし、議会で出された意見が反映されていません。市長は2案を出すと云った約束を守るべきで、「議場を北か南の2案を示している」との答弁では納得できません。議会と約束し、市庁舎の条例が可決した重みを受け止め、議会で出された意見のグンゼ敷地の案も示すべきです。言っていないといいますが、議事

録を確認してはどうですか。このようなやり方は議会、民主主義、二元代表制を軽視しており、承服できません。

A. 市役所の位置については議会全員で可決しており、グンゼは理想形ではありませんが、再度条例を可決しなくてはならず、時間がなく国の支援が難しくなります。グンゼ敷地への建設は不可能です。

Q. 道の駅の売り上げ、来客者の減少の原因と対策はどう考えますか。

A. 2年目の来客者、売り上げが減少するのは全国の道の駅の共通課題と認識しています。米沢の道の駅の開業もあり前年を下回っていました。秋以降は前年を上回っており、これを継続させ、観光交流センターとしての機能を最大限に果たしていきます。

Q. 18才までの医療費無料化は対象者780人、1600万円で可能。実施すべきです。

A. 少子化対策の重要な施策であり、財源を確保し、できるだけ早く実施すべき課題です。



新市庁舎建設予定地

予算

特別委員会

総括質疑

菜なポートがヨーク跡へ
出店する課題は

宇津木正紀委員

菜なポートが本町のヨークベニマル跡への出店を検討との報道がありました。店舗は賃貸なのか。どの場所に開店するのか検討していますか。

市長 店舗は賃貸で、位置は中央部にドラッグストアが配置され、菜なポートはその北側に提案されています。

委員 菜なポートが移転する課題は何でしょうか。

市長 経営が成り立つかが最大のポイント。賃料が課題で建物の規格にも影響され、現在、事務レベルの協議中です。

委員 将来の街路事業のための用地提供として、駅前十字路の南西角にあった住居兼店舗の用地の寄附を受けた経過を伺います。

建設参事 同建物は今年の5月に特定空き家に認定され、所有者が解体費用の自己資金不足で解体が難いため、建物と土地を市に寄附しました。空家等適正管理事業を活用し、解体費用の5分の4は国の補助と特別交付税で手当てされます。

新庁舎建設による近隣住民の
プライバシーを守る対策は

町田義昭委員

新庁舎は3階建てで、住宅地より約2m高

い場所に建設の予定であり、20m近い高さになると思われます。住民の方は当然上からの視線が気になるだろうし、狭い場所での建設は、車両の出入りや騒音など、生活圏が守れない場面が想定されます。その対策をお聞かせください。

市長 新庁舎建設の基本計画について、市内6地区の市民説明会に先立ち、栄町の住民の方々を対象に説明会を行いました。隣接地6世帯については、個別に説明を行い、疑問や不安などを伺っています。工事車両の出入りと騒音には、万全の対策を考えています。また、庁舎全体を西側に建設し、民家との距離を出し、圧迫感のないよう考えています。**公共施設整備課長** 上から見下ろす視線については難しい課題であり、一般的には、塀や植栽、ミラーの窓ガラスなどで視線を遮る方法が考えられますが、今後、住民の方々と十分話し合い、最善の方策を探っていきます。

行政視察報告

特徴のある事例を学ぶため、先進的な施策を実施する他自治体を視察しました。視察の成果は、本市の課題解決や市への提言等に生かしていきます。

産業・建設常任委員会

平成30年7月10日～12日

兵庫県三木市、朝来市

少子高齢化による人口減少対策の一環として、移住・定住の促進による産業振興という視点から、先進地を視察しました。

三木市では、出会い、結婚、子育てから移住定住まで総合的にサポートする「縁結び課」の取り組みについて説明を受けました。出生率低下の要因である未婚率の上昇を課題と捉え、婚活事業として「みきで愛（出会い）サポートセンター」で独身男女の出会いの場を創設しています。また、仲人の役割を担う市民ボランティアのサポーターが、第二の親的存在として、きめ細やかな支援をしています。成婚に向けた熱心な活動を通じて、苦労もあるが、やりがいも見出されています。

朝来市は、兵庫県のほぼ中央部に位置し、但馬・山陰地方と京阪神大都市圏を結ぶ交通の要衝の地です。過去には雑誌の「住みたい田舎ベストランキング総合

1位」の実績があり、「朝来暮らし応援課」を窓口にして、若者世代に重点を置いた移住・定住施策を総合的に展開しています。大都市圏で移住フェアを開催して生活環境や魅力的な人・暮らしの情報を発信したり、空き家バンクやあさご暮らし体験住宅など空き家を活用した取り組みを進めています。この体験住宅は、固定資産相当額で空き家所有者から10年間借り、修繕後毎月3万円で提供。管理や入居後の相談業務を地元区に委託するなど地域との良好な関係を大事にし、行政と一緒に取り組むことが成功へ導いていました。



...

市庁舎等建設調査特別委員会

平成30年10月29日～30日

富山県富山市、新潟県新発田市

富山市中心部の小学校跡地に整備された「総曲輪（そうがわ）レガートスクエア」を視察しました。この施設は、地域包括ケア拠点となる公共施設と、スポーツクラブ、看護学校、リハビリテーション医療福祉大学校、調理菓子専門学校、コンビニエンスストア、医薬品製造販売会社による健康提案型カフェなどの民間施設による官民複合型の健康まちづくりの拠点となっています。特にまちなか総合ケアセンターでは、地域連携室、こども発達支援室、病児保育室、まちなか診療所、医療介護連携室、産後ケア応援室などが設置され、まちなかサロンでは地域の方々の様々なイベントが企画され地域住民の交流、集いの場になっています。中心市街地に社会資本が総合的に整備され、コンパクトで持続可能なまちづくりが実践されていました。

新発田市では、「イクネス新

発田」を視察しました。駅前の複合施設として図書館こどもセンター、キッチンスタジオ、多目的室などを兼ねそろえた複合施設として平成29年にオープンした施設です。まち、ひと、活動をつなぐ拠点として、合併特例債を活用して建設されました。幼児から中高生、お年寄りまでの幅広い交流の場として、これからの複合施設の建設に参考になりました。

長井らしい公共施設の整備に向けて、先進地の事例を参考に、今後も継続して調査、検討していきます。



委員会活動報告

常任委員会で、所管事務の事業等を詳しく調査するために現地踏査（市内視察）を実施しました。特別委員会の研修と合わせて報告します。

文教常任委員会

12月4日

長井小学校の車両進入路、仮昇降口、管理棟工事状況と旧第一校舎前の防火用水池の現地視察をしました。車両進入路の新設は9月議会、防火用水池の埋め戻し工事は12月議会で補正予算を可決しています。

新年度からの指定管理者制度の導入にあたり、児童と利用客の双方の安全性を確保していきたいと教育委員会から説明を受け、記念樹の伐採や出入り口の安全性、歴史的建物と環境の保全等について、それぞれ議論を交わしました。



産業・建設常任委員会

12月6日

市道路線認定の議案審査のため、現地踏査をしました。開発行為に関する工事に伴う1路線（館南1号線）と国道287号長井南バイパス開通に伴う1路線（今泉時庭線）の白川橋、地下歩道、照明灯等も移管され、維持管理費は市の負担になりますが、56%程度の交付税措置を見込んでいます。今泉の歩道橋の除雪は人力で間に合うのかとの委員の質疑に対して、安全に通行できるように十分に配慮した除雪を行うとの説明を受けました。



厚生常任委員会

12月5日

長井市で初めて開設された家庭的保育事業（保育ママ）の施設を視察しました。

家庭的保育は、市長が認定した家庭的保育者が自宅で子どもを預かり保育するもので、自宅内に保育施設等を整備し、市の委託を受け、各家庭にこのような雰囲気の中で保育します。施設は、成田地区に「ひよっこ」の名称で開設され、0歳児から2歳児まで定員5名です。一般家庭の中での保育は、自然豊かで静かな環境が整った印象でした。



議会だより編集特別委員会

11月8日

県市議会議長会主催の議会報研修会に委員6名で参加しました。今年は天童市を会場として、(株)アサヒマーカーテイング岡崎編集長を講師に迎え、『わかりやすい・伝わりやすい文章術』を演題に研修が行われました。講師による各市議会報の講評があり、本市は表紙の写真の使い方が良く、要点をしっかりと整理して丁寧にまとめられ、裏表紙のおすすめの風景などが良いとの評価をいただきました。今回の講評を励みに、手に取り読んでいただける議会報の編集に努めていきたいと思っています。



請願

採 択

市民西根体育館の廃止に伴う、西根地区の小さな拠点の整備について

(請願者 西根地区長会

会長 高橋順一氏

西根コミュニティセンター

運営協議会会長 椎名隆氏

ほか3名)

■請願の手続きは

意見や要望を市政等に反映させる方法として、請願の制度があります。どなたでも請願書を議会に提出することができますが、1人以上の議員(紹介議員)の署名または記名押印が必要です。

請願書は、議会事務局で随時受け付けています。決められた日までに受理した請願書は、直近の定例会で審議され、採択・不採択が決定されます。詳しくは、議会事務局にお問い合わせください。

議会をもっと身近に

■議場の傍聴席で傍聴できます

本会議の当日朝に、市役所3階の傍聴席入り口で、住所、氏名等を受付簿に記入するだけで傍聴できます。

■パソコンやスマホで視聴できます

本会議や予算・決算特別委員会の様子は、インターネットによる生中継や録画中継をご覧いただけます。今年度から、スマートフォンやタブレットでも視聴可能になりました。

正式な日程や質問内容なども掲載しています。

詳しくは、市議会ホームページをご覧ください。

何が議論されているの？

私たちの暮らしはどうなるの？

■会議録を閲覧できます

市議会の過去の会議録を、市立図書館で閲覧できます。

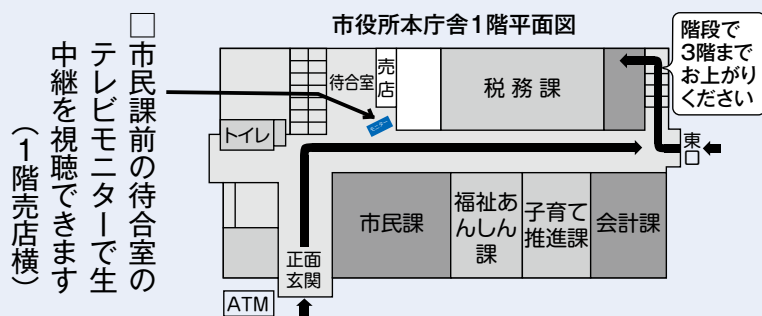
また、市議会ホームページでは、平成16年以降の会議録を掲載しています。

一般質問や予算・決算特別委員会の質疑と答弁が記載されていますので、ぜひご覧ください。



傍聴席から見た本会議の様子

市役所本庁舎1階平面図



長井市議会

検索

次回 3月定例会の予定

◎請願の提出期限は、2月12日(火)の予定です。

日	月	火	水	木	金	土
2月	11	12	13	14	15	16
		全員協議会	総務	文教	厚生	
			常任委員会協議会			
17	18	19	20	21	22	23
	産業・建設	常任委員長会	招集告示			
	常任委員会協議会					
24	25	26	27	28	3月 1	2
	議会運営委員会		本会議(開会)			
			予算特別委員会			
3	4	5	6	7	8	9
	本会議(補正予算表決)(一般質問)	本会議(一般質問)	本会議(一般質問)	総務	文教	
				常任委員会		
10	11	12	13	14	15	16
	厚生	産業・建設	予算	予算	予算	
	常任委員会		特別委員会			
17	18	19	20	21	22	23
		本会議(表決・閉会)				



平成最後の消防出初め式

1月13日、平成最後となる消防出初め式が力強く行われました。消防本部で市民の無事故・無災害を祈願後、市役所前で防火パレード、分列行進、祝賀放水を行いました。

地域を守る防災の要として、軽やかなオレンジ色の防寒服を着用し、整然とした分列行進に市民の皆さんも頼もしさを感じている様子でした。



「長井～白鷹間西廻り幹線道路建設促進期成同盟会」設立総会開催 (12月19日)

置賜圏域の道路ネットワークを形成する重要な道路である「西廻り幹線道路」の建設促進については、長井市と白鷹町でそれぞれ進めてきましたが、このたび一体となり「長井～白鷹間西廻り幹線道路建設促進期成同盟会」として設立し、早期実現に向けて連携して取り組んでいくことになりました。

わ
だ
い



おすすめの風景

熊野山から野川を臨む

今回のおすすめの風景は、平野地区にある熊野山(道照寺平スキー場上部)から野川を望む風景です。
野川沿いに広がる田畑や散居集落が、水墨画のように黒と白の世界に広がる空間となります。



ながい市議会だより 編集特別委員会

金子 豊美 ○平 進介 浅野 敏明
内谷 邦彦 ◎渡部 秀樹 鈴木富美子
(◎委員長 ○副委員長)

暦は大寒を迎え寒さ厳しい日が続いていますが、市民の皆様は健やかな日々をお過ごしでしょうか。
市議会だより編集特別委員会では、市議会の動向や活動をより分かりやすく、より身近に、そして、多くの方々に興味をもっていただけるような紙面づくりに努めております。しかし、本誌にて総てをお伝えする事は紙面の都合上難しいのも事実であります。是非、議会を傍聴いただければ幸いです。議場で皆様をお待ちしております。
(H・W)

編
集
後
記